

被害者参加制度の運用状況等について(法務省刑事局調べ)

1. 被害者参加の申出をした被害者等の状況(刑訴316条の33関係)

	総数	本人	配偶者	直系親族	兄弟姉妹	法定代理人
平成21年	530人	138人	62人	270人	45人	15人
平成22年	893人	227人	103人	472人	65人	26人
平成23年	946人	238人	90人	494人	76人	48人

2. 被害者参加人等の公判期日への出席の状況(刑訴316条の34関係)

	総数	全期日出席	一部出席	全部欠席
平成21年	520人	472人 (90.8%)	45人 (8.7%)	3人 (0.6%)
平成22年	886人	791人 (89.3%)	78人 (8.8%)	17人 (1.9%)
平成23年	941人	809人 (86.0%)	110人 (11.7%)	22人 (2.3%)

※ ここでいう「総数」欄の人員は、被害者参加の不許可決定、被害者参加の前に被害者参加の取消し決定又は公訴棄却等があった場合の人員を含まないため、表1の「総数」欄の人員とは一致しない。

※ 割合は、それぞれ四捨五入しているため、割合の和が100.0にならない場合がある。

※ 各欄記載の出席者数は参加が許可された被害者参加人の数を基準にしている(被害者参加人から委託を受けた弁護士のみが出席している場合もある。)

3. 被害者参加人等の検察官に対する意見申述の状況(刑訴316条の35関係)

	意見申述 有り	意見の種別						意見申述 無し
		訴因変更等	証拠請求	証拠調べの方法	論告求刑	上訴権	その他	
平成21年	48人	11人	5人	1人	13人	24人	2人	472人
平成22年	41人	5人	15人	3人	15人	7人	2人	845人
平成23年	39人	5人	12人	12人	14人	8人	0人	902人

※ 被害者参加人等1人につき、複数の種別の意見の申述がなされている場合があるため、「意見申述有り」欄の人員と「意見の種別」欄の人員の合計は一致しない。

4. 被害者参加人等による証人尋問の状況(刑訴316条の36関係)

	証人尋問 申出有り	許可	証人尋問をした者(内訳)			不許可	証人尋問 申出無し
			本人	委託を受けた弁護士	双方		
			平成21年	113人	113人		
平成22年	174人	174人	32人	125人	17人	0人	712人
平成23年	153人	153人	29人	113人	11人	0人	788人

5. 被害者参加人等による被告人質問の状況(刑訴316条の37関係)

	被告人質問 申出有り	許可	被告人質問をした者(内訳)			不許可	被告人質問 申出無し
			本人	委託を受けた弁護士	双方		
			平成21年	340人	338人		
平成22年	518人	517人	153人	320人	44人	1人	368人
平成23年	479人	477人	101人	318人	58人	0人	462人

6. 被害者参加人等による事実又は法律適用についての意見陳述の状況(刑訴316条の38関係)

	意見陳述の 申出有り	許可	意見陳述をした者(内訳)			不許可	意見陳述の 申出無し
			本人	委託を受けた弁護士	双方		
			平成21年	310人	308人		
平成22年	488人	487人	136人	307人	44人	1人	398人
平成23年	505人	505人	139人	309人	57人	0人	436人

7. 被害者参加人等への検察官請求予定証拠の開示の状況

	開示有り	開示無し
平成21年	387人	143人
平成22年	586人	307人
平成23年	605人	342人